

# 2025年6月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
(証券コード : 5698)

2025年2月13日

## 目次

- 1. 2025年6月期 決算概要**
2. 2025年6月期 見通し
3. 今後の主な取り組み
4. 参考資料

## 連結業績

売上高  
**24,783**百万円  
前年同期比  
**3.9%減**

営業利益  
**380**百万円  
前年同期比  
**47.7%減**

経常利益  
**359**百万円  
前年同期比  
**64.3%減**

四半期純利益\*  
**326**百万円  
前年同期比  
**52.9%減**

### 【当社グループを取り巻く環境】

- 中国による鉄鋼製品過剰生産の影響が表面化
- 鉄スクラップの期中平均価格(東京製鐵田原海上特級価格)は**44,250**円/ t (前年同期50,176円/ t)
- コバルト、ニッケル、リチウムは需給緩和し、平均価格は前年同期を下回ったが、銅の平均価格は前年同期を上回って推移

### 【TOPICS】

- 出荷数量は**293**千t (前年同期比**9.6%減**)
- **LIB\*リサイクル茨城工場稼働開始**
- 片付け・解体工事の新会社エコデモに三井住友トラスト・パナソニックファイナンスが資本参加

\*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益（金額、数量は切り捨て表示：％は四捨五入表示）

\*LIB：リチウムイオン電池

# 決算概要▶第2四半期 連結損益計算書概要



(単位：百万円)

	2024年6月期 上期	2025年6月期 上期		
	実績	実績	前年同期比	
			増減額	増減率
取扱量（千 t）	324	293	▲31	▲9.6%
売上高	25,789	24,783	▲1,005	▲3.9%
売上総利益	4,184	4,126	▲58	▲1.4%
営業利益	726	380	▲346	▲47.7%
経常利益	1,004	359	▲645	▲64.3%
税金等調整前四半期純利益	1,019	369	▲649	▲63.8%
四半期純利益*	692	326	▲366	▲52.9%
限界利益*	5,023	4,618	▲405	▲8.1%
EBITDA*	1,349	1,063	▲285	▲21.2%
純粋固定費*	4,235	4,455	219	5.2%

\*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

\*限界利益 = 売上高 - 変動費

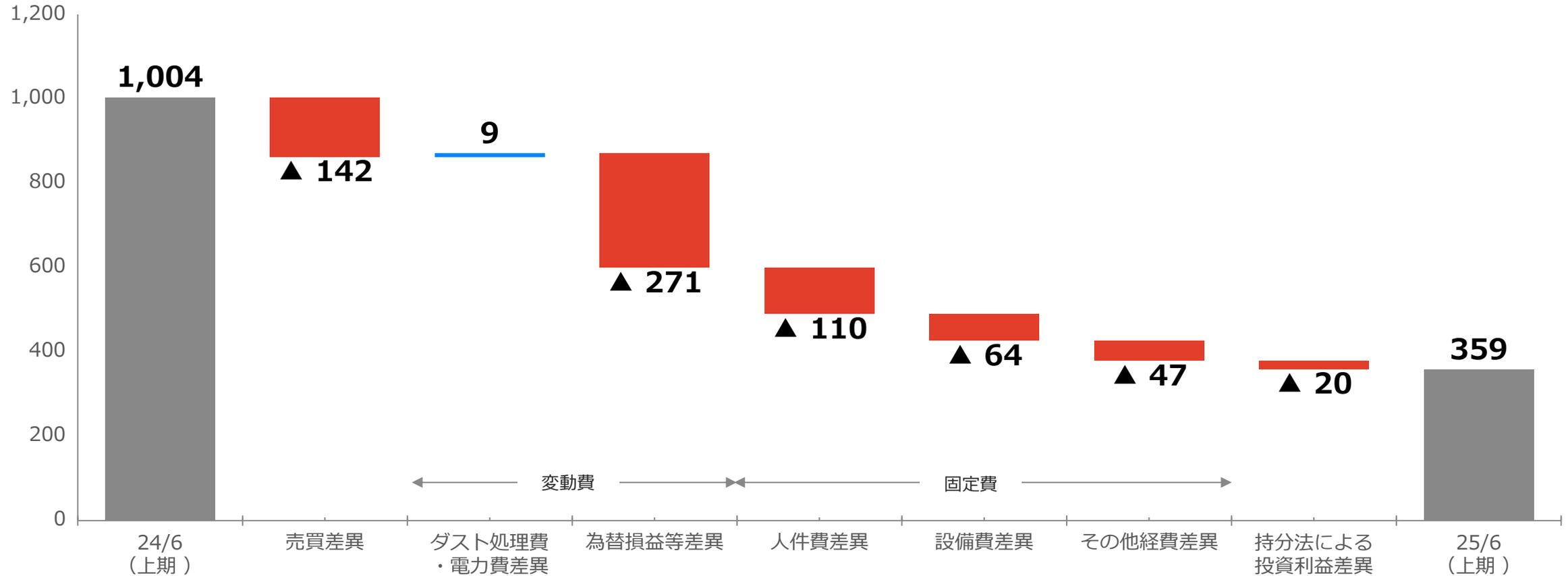
\*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

\*純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 決算概要 ▶ 連結経常利益差異分析（前年同期比）

- **売買差異** : 鉄スクラップ価格の一時的な急落の影響
- **為替損益等差異** : 不安定な為替変動により為替差損発生
- **人件費差異** : 人員増加、定期昇給及びベースアップによる影響

(単位：百万円)



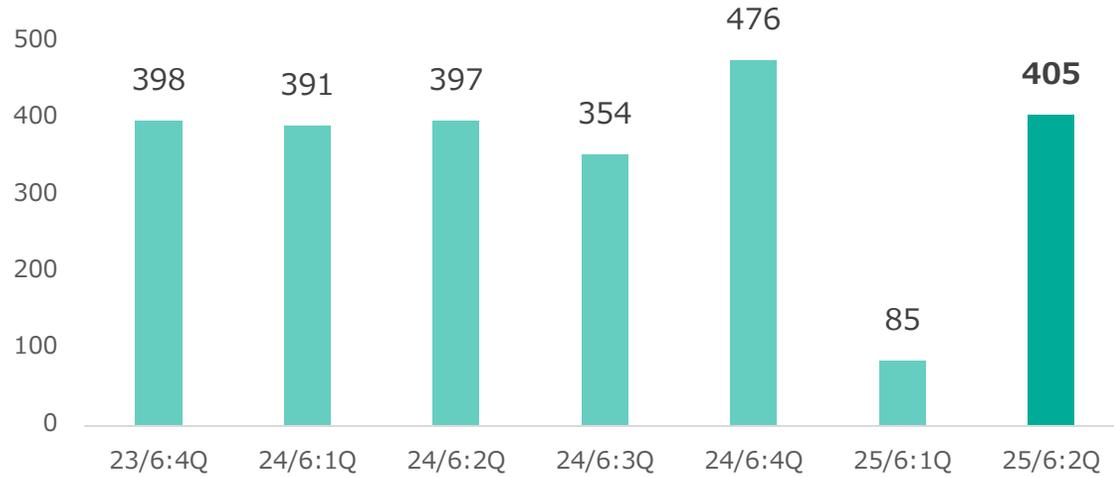
# 決算概要▶セグメント別業績概要

(単位：百万円)

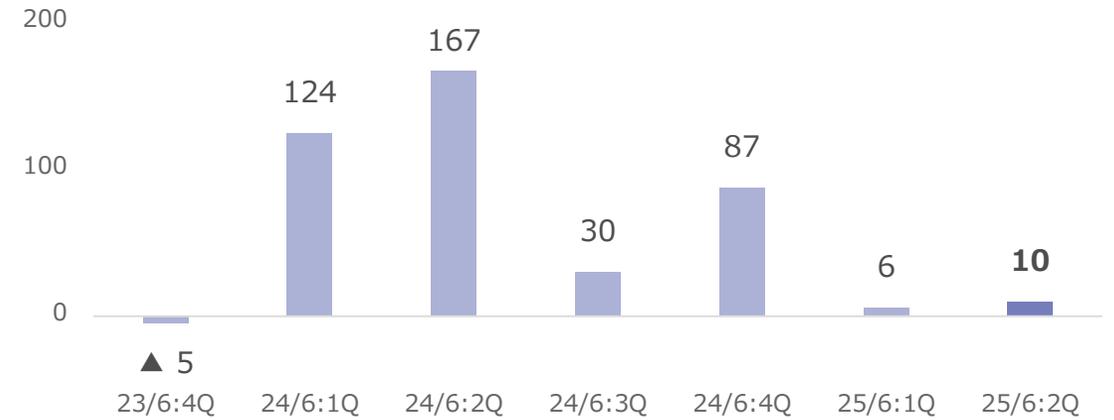
		2024年6月期	2025年6月期		TOPICS	
		上期	上期			
		実績	実績	前年同期比		
			増減額	増減率		
資源循環事業	取扱量 (千 t)	121	116	▲5	▲3.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄スクラップ価格の一時的な下落の影響に人件費、設備費増が重なり減益</li> <li>■ 市況の影響を受けにくい片付け・解体、プラスチック燃料化事業は堅調</li> <li>■ ポリマー製品製造では、原材料価格上昇に対し製品価格への転嫁遅延</li> </ul>
	売上高	10,283	10,225	▲57	▲0.6%	
	セグメント利益	789	490	▲298	▲37.8%	
グローバル トレーディング事業	取扱量 (千 t)	247	217	▲30	▲12.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物流代行サービスは、需給に対応した価格提案が奏功し堅調に推移</li> <li>■ 金属原料のトレーディング事業は、一時的なスクラップ価格下落と為替変動の影響により出荷数量減となり減収減益</li> <li>■ 引き続き鉄スクラップ分野での国内電炉メーカーとの連携を通じ、安定した集荷販売の仕組みを強化</li> </ul>
	売上高	17,445	16,086	▲1,358	▲7.8%	
	セグメント利益	292	16	▲275	▲94.3%	
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	718	812	94	13.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電池材料であるレアメタル相場は前年同期を下回る水準で推移</li> <li>■ 茨城工場の本格稼働開始と加工受託増により、生産数量は前年同期比で増加</li> <li>■ 設備費増で減益となるも、シェア拡大を目指し引き続き積極的に投資を推進</li> </ul>
	セグメント利益	132	94	▲37	▲28.2%	
その他	売上高	242	236	▲6	▲2.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 環境経営コンサルティング事業は、予期せぬ予定変更で業務対応が遅れ減益</li> <li>■ 環境BPO (アウトソーシング) サービスの開始</li> <li>■ 障がい福祉サービス事業の業績は堅調</li> </ul>
	セグメント利益	54	32	▲21	▲40.2%	

(単位：百万円)

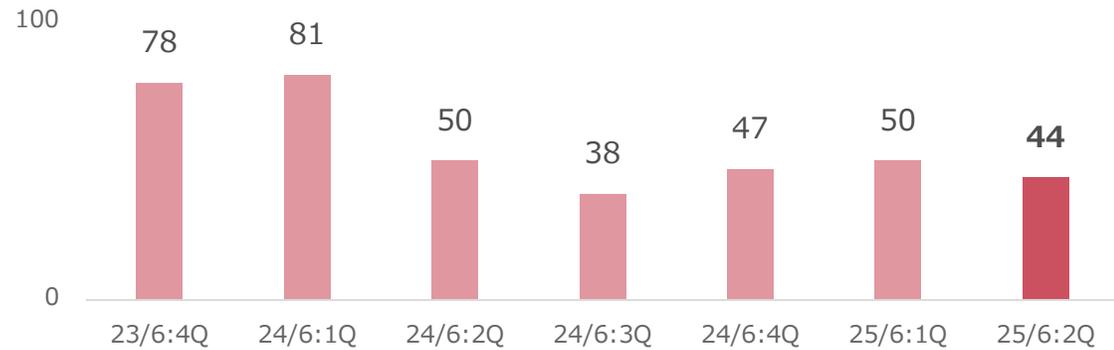
## 資源循環事業



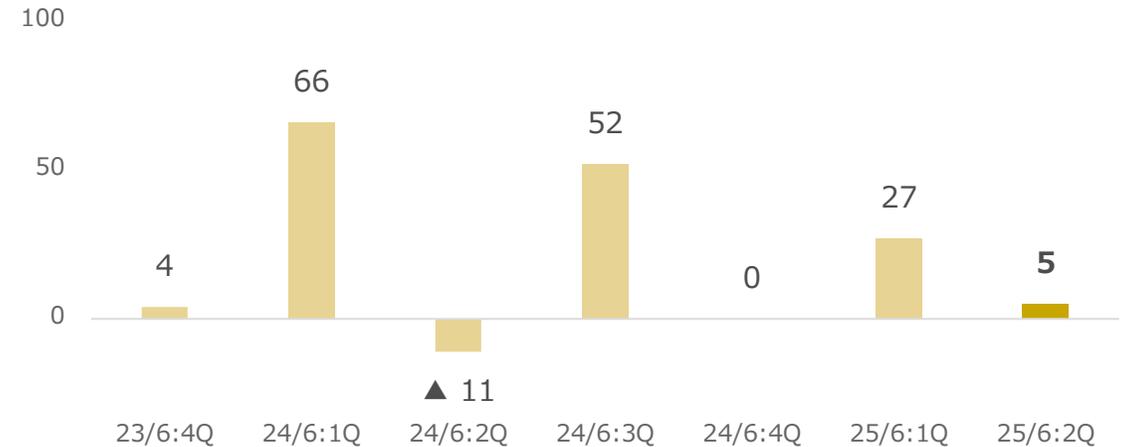
## グローバルトレーディング事業



## リチウムイオン電池リサイクル事業



## その他



(単位：百万円)

	2024年 6月末	2024年 12月末	増減額	TOPICS
流動資産	18,366	<b>17,302</b>	▲1,064	商品及び製品▲710百万円、現金及び預金▲234百万円、その他流動資産▲117百万円
固定資産	15,419	<b>15,438</b>	19	
（有形固定資産）	11,175	<b>11,073</b>	▲102	機械装置及び運搬具231百万円、建設仮勘定▲281百万円、建物及び構築物▲61百万円
（無形固定資産）	189	<b>195</b>	6	
（投資その他の資産）	4,054	<b>4,169</b>	114	投資有価証券157百万円
<b>資産合計</b>	<b>33,786</b>	<b>32,741</b>	<b>▲1,045</b>	
流動負債	11,090	<b>10,229</b>	▲860	短期借入金1,010百万円、その他流動負債▲1,055百万円、買掛金▲502百万円 未払法人税等▲197百万円
固定負債	5,657	<b>5,247</b>	▲410	長期借入金▲435百万円
<b>負債合計</b>	<b>16,747</b>	<b>15,476</b>	<b>▲1,271</b>	
純資産	17,038	<b>17,264</b>	226	利益剰余金144百万円、非支配株主持分100百万円
（自己資本）	16,719	<b>16,845</b>	125	自己資本比率 51.4%（2024年6月末49.5%）
<b>負債純資産合計</b>	<b>33,786</b>	<b>32,741</b>	<b>▲1,045</b>	

# 決算概要▶連結キャッシュ・フロー計算書概要



(単位：百万円)

	2024年6月期	2024年6月期	2025年6月期	TOPICS
	上期	通期	上期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,357	2,940	<b>1</b>	(収入) 減価償却費681百万円、税金等調整前四半期純利益369百万円 固定資産圧縮損200百万円、売上債権の減少額104百万円 退職給付に係る負債の増減額55百万円 (支出) 未払金の増減額1,035百万円、仕入債務の増減額496百万円 法人税等の支払額234百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲690	▲1,560	<b>▲637</b>	(収入) 国庫補助金の受取199百万円 (支出) 有形固定資産の取得844百万円、無形固定資産の取得22百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,411	▲1,931	<b>372</b>	(収入) 短期借入の純増加額1,010百万円 (支出) 長期借入金の返済545百万円、配当金の支払額181百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲19	37	<b>29</b>	
現金及び現金同等物の増減額	▲763	▲513	<b>▲234</b>	
現金及び現金同等物の期首残高	7,245	7,245	<b>6,771</b>	
現金及び現金同等物の期末残高	6,481	6,771	<b>6,536</b>	

## 目次

1. 2025年6月期 決算概要
- 2. 2025年6月期 見通し**
3. 今後の主な取り組み
4. 参考資料

## 連結業績予想の修正

売上高

**49,500**百万円

前期比

**5.2%減**

営業利益

**1,000**百万円

前期比

**29.1%減**

経常利益

**1,150**百万円

前期比

**35.5%減**

当期純利益\*

**1,150**百万円

前期比

**114%増**

## 業績修正の要因

- 第2四半期以降の業績は回復傾向にあるが、第1四半期の出遅れをカバーできず減収減益の見通し
- 金属資源循環事業及びトレーディング事業については、それぞれの事業モデルの転換が進行中
- リチウムイオン電池リサイクル事業の取扱量は予定どおり増加の見込み、物流代行サービスも堅調に推移

※純利益率は火災保険の保険金受取により上昇

### 業績予想の前提条件

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
40,000円/t	1,400円/kg	13,000円/g	150円/g	2,300円/kg	3,300円/kg	150円/USD

\*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

# 見通し▶2025年6月期 連結業績



(単位：百万円)

	2024年6月期	2025年6月期			2025年6月期		
	実績	修正予想 (2025/2/13)	前期比		前回予想 (2024/8/9)	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
取扱量 (千 t)	648	<b>617</b>	▲31	4.8%	<b>650</b>	▲33	▲5.1%
売上高	52,214	<b>49,500</b>	▲2,714	▲5.2%	<b>53,500</b>	▲4,000	▲7.5%
売上総利益	8,480	-	-	-	<b>8,900</b>	-	-
営業利益	1,409	<b>1,000</b>	▲409	▲29.1%	<b>1,500</b>	▲500	▲33.3%
経常利益	1,782	<b>1,150</b>	▲632	▲35.5%	<b>2,000</b>	▲850	▲42.5%
税金等調整前当期純利益	816	-	-	-	<b>2,000</b>	-	-
当期純利益*	537	<b>1,150</b>	612	114.0%	<b>1,480</b>	▲330	▲22.3%
限界利益*	9,996	-	-	-	<b>11,000</b>	-	-
EBITDA*	2,680	-	-	-	<b>3,000</b>	-	-
純粋固定費*	8,683	-	-	-	<b>9,600</b>	-	-
ROE	3.2%	-	-	-	<b>8.20%</b>	-	-

\*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

\*限界利益 = 売上高 - 変動費

\*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

\*純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 見通し▶2025年6月期 連結業績



(単位：百万円)

売上高	2024年6月期	2025年6月期	
	実績	修正予想 (2025/2/13)	構成比
連結	52,214	<b>49,500</b>	100.0%
資源循環事業	21,254	<b>21,500</b>	38.8%
グローバルトレーディング事業	34,955	<b>32,000</b>	57.7%
リチウムイオン電池リサイクル事業	1,570	<b>1,450</b>	2.6%
その他	491	<b>500</b>	0.9%
調整額	▲ 6,058	<b>▲5,950</b>	-

2025年6月期			
前回予想 (2024/8/9)	前回予想比		構成比
	増減額	増減率	
<b>53,500</b>	▲ 4,000	▲ 7.5%	100.0%
<b>25,500</b>	▲ 4,000	▲ 15.7%	43.0%
<b>32,000</b>	0	-	54.0%
<b>1,250</b>	200	16.0%	2.1%
<b>500</b>	0	-	0.8%
<b>▲ 5,750</b>	▲ 200	-	-

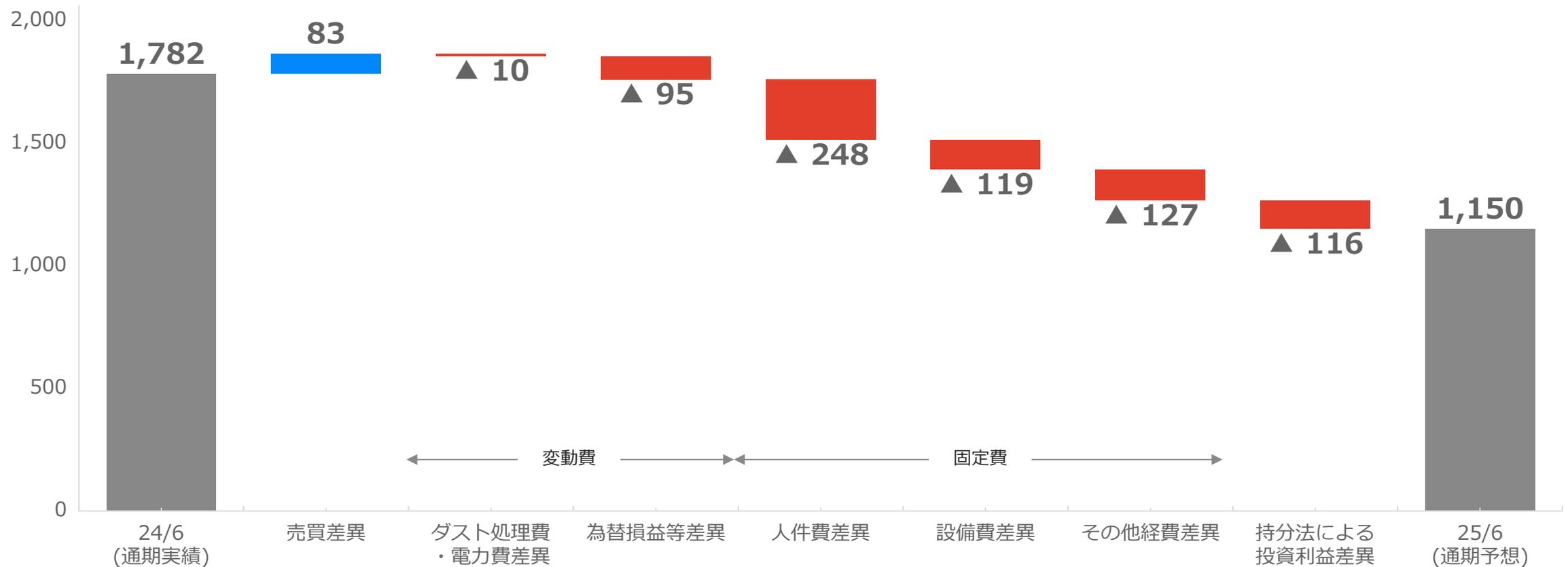
セグメント利益	2024年6月期	2025年6月期	
	実績	修正予想 (2025/2/13)	構成比
連結	1,782	<b>1,150</b>	100.0%
資源循環事業	1,621	<b>1,200</b>	70.6%
グローバルトレーディング事業	411	<b>300</b>	17.7%
リチウムイオン電池リサイクル事業	218	<b>130</b>	7.6%
その他	108	<b>70</b>	4.1%
調整額	▲ 576	<b>▲550</b>	-

2025年6月期			
前回予想 (2024/8/9)	前回予想比		構成比
	増減額	増減率	
<b>2,000</b>	▲ 850	▲ 42.5%	100.0%
<b>2,000</b>	▲ 800	▲ 40.0%	76.2%
<b>540</b>	▲ 240	▲ 44.4%	20.6%
<b>▲ 15</b>	145	-	▲ 0.6%
<b>100</b>	▲ 30	▲ 30.0%	3.8%
<b>▲ 625</b>	75	-	-

# 見通し▶連結経常利益差異分析（前期比）

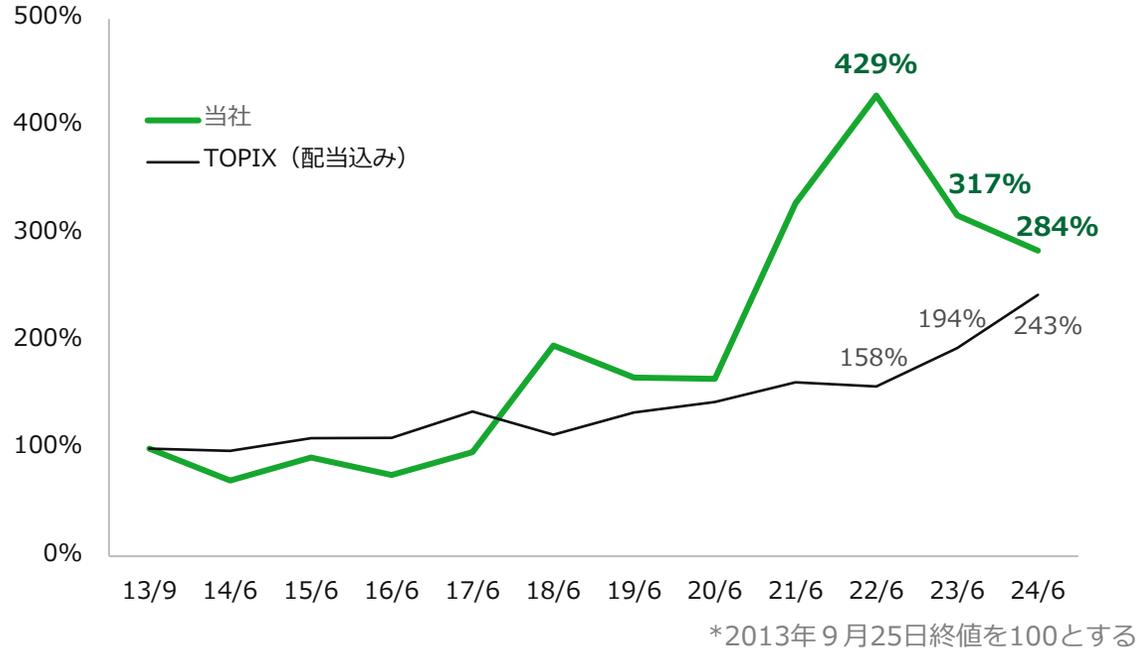
- **売買差異** : 鉄スクラップ価格下落の影響を受けるも、サービス割合増加等で前期並みを維持
- **人件費差異** : 人員増加、定期昇給及びベースアップによる影響
- **設備費差異** : 新工場、新規設備投資

(単位：百万円)



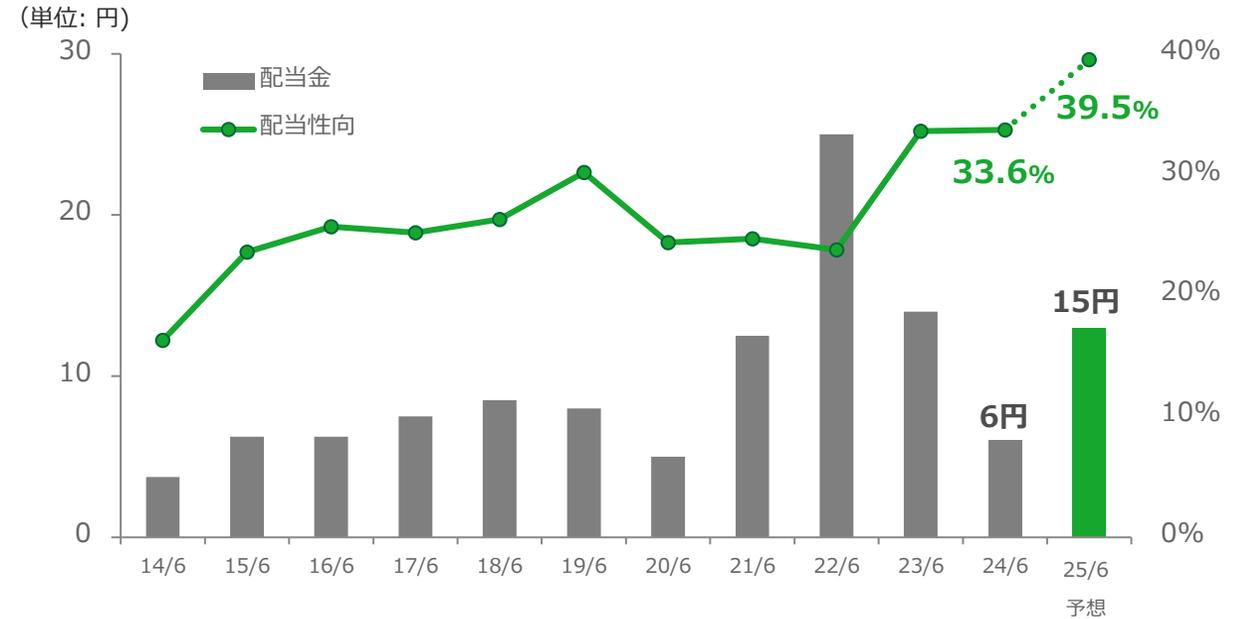
## 上場以降のTSR推移（株主総利回り）

- 10年で見ると、**TOPIXのパフォーマンスを上回って**推移



## 当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 **25~35%**を目標とする。



\*2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。  
 2022年4月20日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。  
 1株当たり配当金は2014年6月期以前から上記の株式分割が行われたと仮定して算定。

(単位：円)

	2013年 9/25終値	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6	2020/6	2021/6	2022/6	2023/6	2024/6	2025/6 (予想)
株価(6月末)	205	140	178	139	174	369	300	292	614	794	552	479	-
1株配当金	-	3.75	6.25	6.25	7.5	8.5	8	5	12.5	25	14	6	15
配当性向	-	16.3%	23.6%	25.7%	25.2%	26.3%	30.2%	24.4%	24.7%	23.8%	33.6%	33.6%	39.5%

## 目次

1. 2025年6月期 決算概要
2. 2025年6月期 見通し
- 3. 今後の主な取り組み**
4. 参考資料

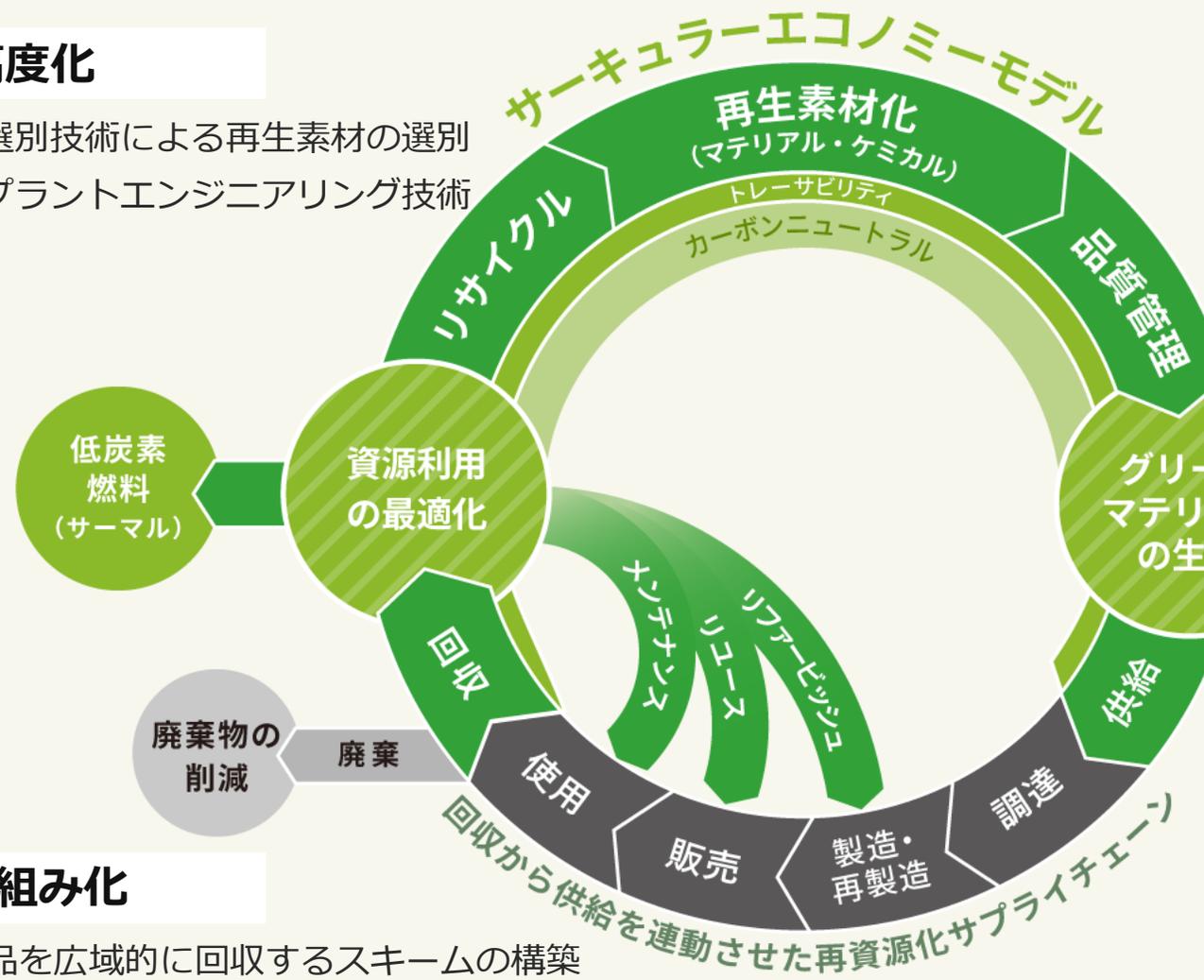
## 「低炭素プロセスによる地上資源の再生素材メーカー」に変革

### 技術の高度化

- 高度物理選別技術による再生素材の選別
- 専門的なプラントエンジニアリング技術

### 再生素材の付加価値化

- メーカー仕様に応じた再生素材の品質管理
- 再生素材の用途開発・製品化技術



グリーンマテリアルとは

地上資源(廃棄物) から **カーボンニュートラル** で製造される **再生素材**

#### ターゲット 素材

メーカー等の要求に見合った品質の再生素材を生産し、その用途開発も併せて行う

#### ベースメタル

Fe Al Cu

鉄・アルミ・銅

#### プレシャスメタル

Au Pt Ag Pd

金・銀・白金族  
(プラチナ・パラジウム)

#### レアメタル

Li Ni Co

リチウム・  
ニッケル・コバルト

#### レアアース

Nd Dy

重希土類  
(ネオジム・ジスプロシウム)

#### ポリマー

C

プラスチック・ゴム

### 回収の仕組み化

- 使用済製品を広域的に回収するスキームの構築

### 安定供給化

- 素材メーカーとの連携・提携等による再生素材の供給

## CEを実現させる当社の独自性（強み）

- 1 高度な物理選別設備・プロセス・ノウハウ
- 2 リサイクルエンジニアリングの専門性
- 3 コンサルティング及び企画提案力
- 4 全国複数拠点と海外を含めた流通ネットワーク
- 5 解体から資源循環まで一貫サービス

## 重要戦略事業

- 焼却灰からの金銀滓回収
- 電池リサイクル
- ケミカルリサイクル

## 再生素材メーカーへ変革するための具体的取り組み

- 仕組みによる回収力向上
- 物理選別技術および再生素材製品化技術の高度化
- 解体・設備撤去を起点とした資源利用の最適化
- サーキュラーエコノミー管理サービスの提供

## 中計2029の財務目標

売上高

**860**億円

経常利益

**47**億円

ROE

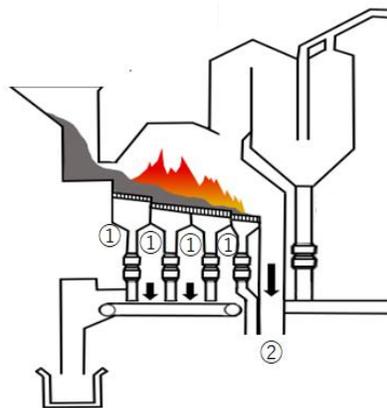
**14%**

ROIC

**9%**

新しい日本の常識（あたりまえ） 「焼却灰は地上資源が濃縮された日々再生産される金鉱脈」

落じん灰と主灰



(ストーカー式焼却施設)

- ① 落じん灰
- ② 主灰

主灰は落じん灰に比べ発生量  
は多いが、金属含有が少ない

出典：  
一般廃棄物焼却プロセスにおける有価金属の落じん灰  
への移行挙動の解明 JFE技研(株)他を基に当社改変

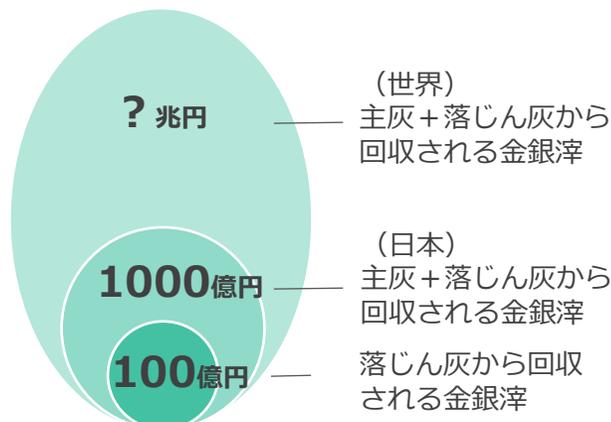
落じん灰

- 落じん灰からの金銀滓回収はすでに事業として確立

KPI 取引中自治体数



焼却灰中の金銀滓マーケット（年間）



※当社推計  
(金の価格上昇により、マーケットの当社推計値を更新)

焼却灰中の金(Au)含有量



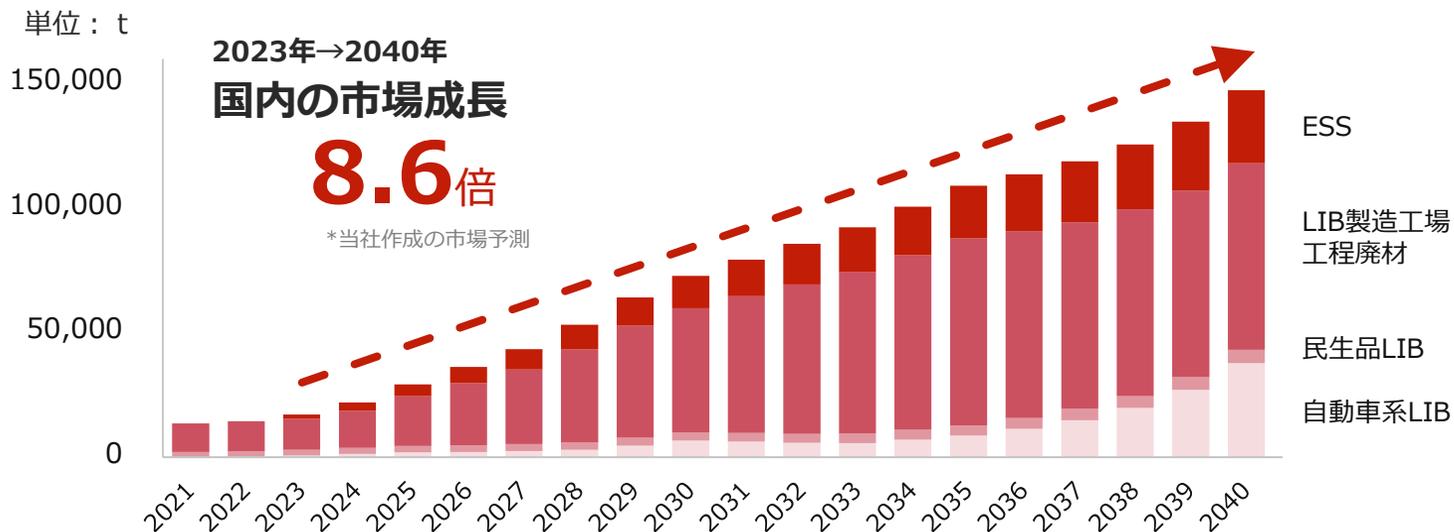
主灰

- 主灰からの金銀滓回収に向けて **選別・分析試験開始**

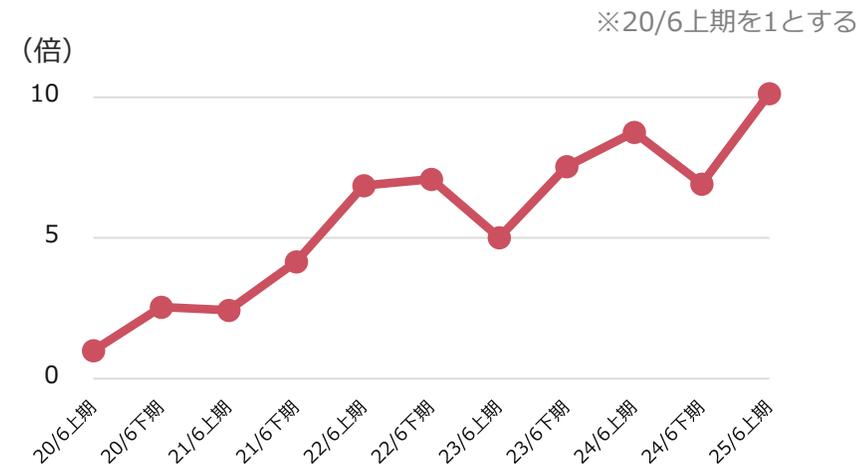
01 主灰の資源化会社とのアライアンス

02 最終処分場とのアライアンス

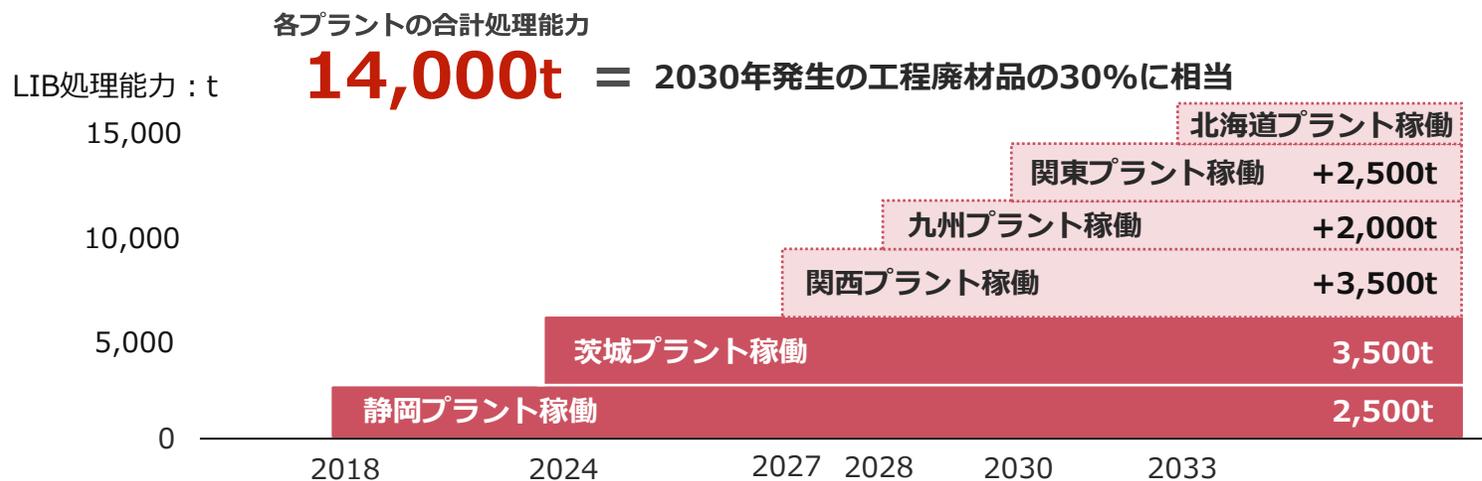
## 市場の成長、変化に柔軟に対応



## 当社電池リサイクルプラントの入荷数量



## 今後の設備投資方針



## 湿式製錬の主体的取り組みの停止

- 高品位で高効率なブラックマス製造拠点を全国に展開する
- 電池の取引会社、取扱量、取引形態（加工受託等）を増やす
- 他社にない技術を付加する

3つのアプローチで資源循環を促進

**サーマル** 低炭素燃料事業の強化

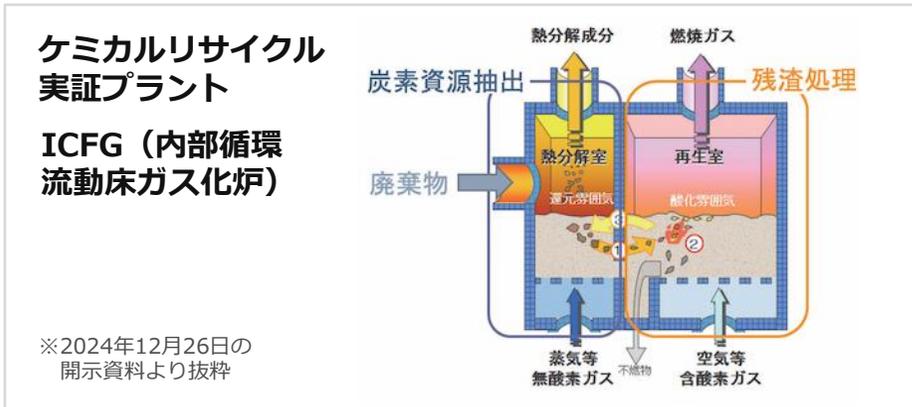
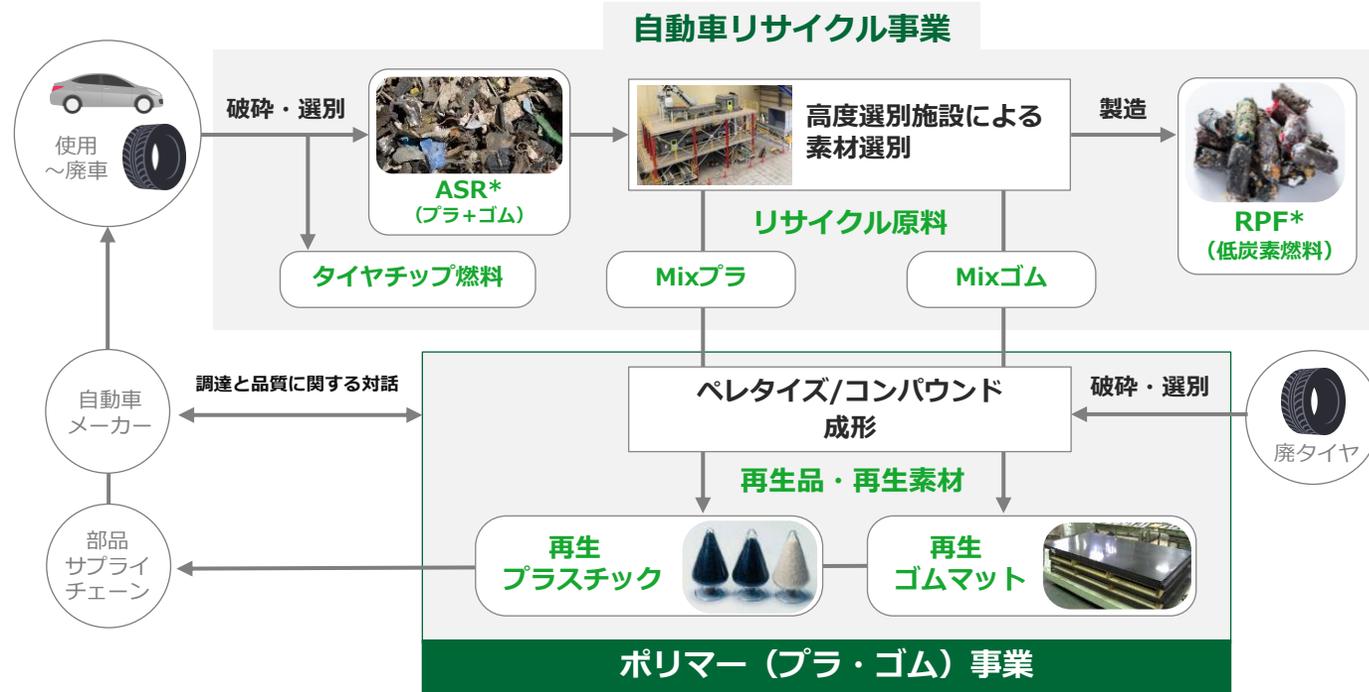
- **RPF\*製造ライン新設**  
2025年中稼働開始予定（静岡県富士市）
- **タイヤチップ燃料製造ライン新設**  
2025年3月稼働開始予定（静岡県富士市）

**マテリアル** プラ・ゴムの再生素材化

- **ASR\*に含まれるプラスチック、ゴムの再生素材化・製品化**
- **製品製造プロセスで発生する廃ゴムのクローズドループ構築中**

**ケミカル** 荏原環境プラント株式会社と共同実証事業に合意

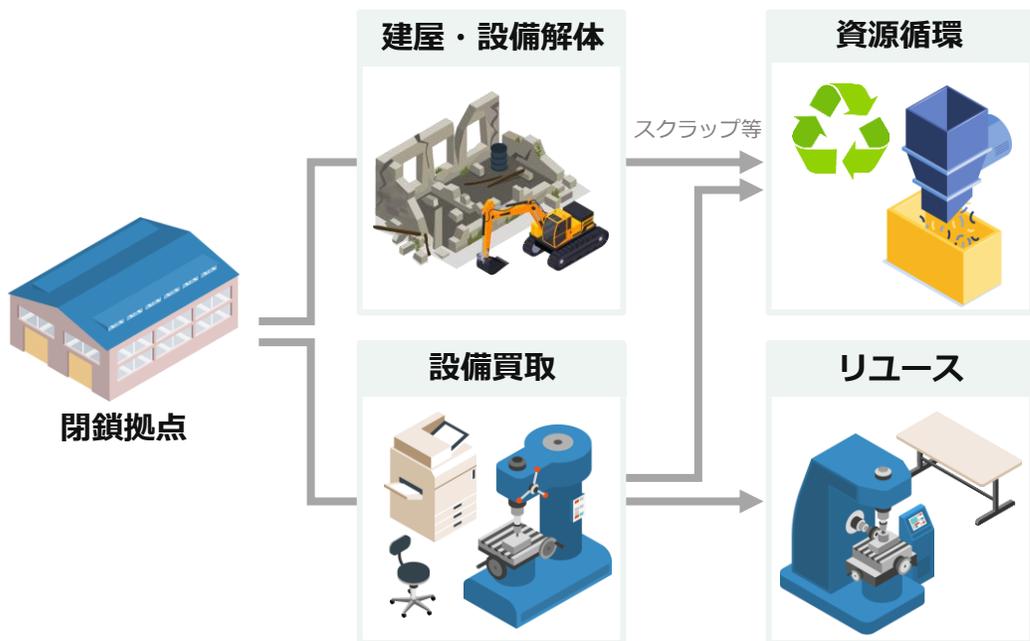
- **将来のケミカルリサイクルの社会実装に向けた取り組みの一環として、実証事業に対し原料の廃プラスチック類の提供及び調達管理を担う**
- **プラントを活用した事業化の検討を開始**



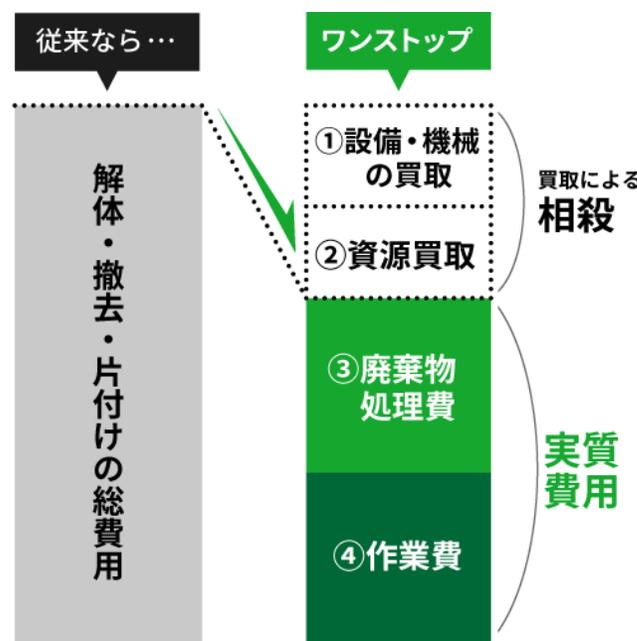
\*ASR：解体業者・破碎業者の再資源化基準に従って事前選別処理品目の回収等が行われた後発生する自動車由来のシュレッダーダスト  
\*RPF：廃プラスチック類と紙ごみ類を主原料に圧縮してつくる、CO<sub>2</sub>排出量を削減できる環境配慮型燃料

## 解体における中古設備買取から資源循環までのワンストップサービスを提供

### ワンストップサービスの流れ



### コストダウン効果



※イメージ図

2025年1月本格稼働開始



三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社

- 営業導線の拡張
- 効果的な情報獲得

## 機能強化でトップラインの伸長を目指す

### 01 ワンストップサービスによる解体コストの合理化

解体・撤去・リユース機能を合わせてトータルコストを削減

### 02 施工管理能力の向上

有資格者を増やし、大規模工事の案件遂行能力を獲得

### 03 物件情報とのタッチポイント増強

関係性構築済みのスクラップ業界、リース会社、銀行、リユース会社、不動産デベロッパー、医療コンサル等へネットワークを拡大

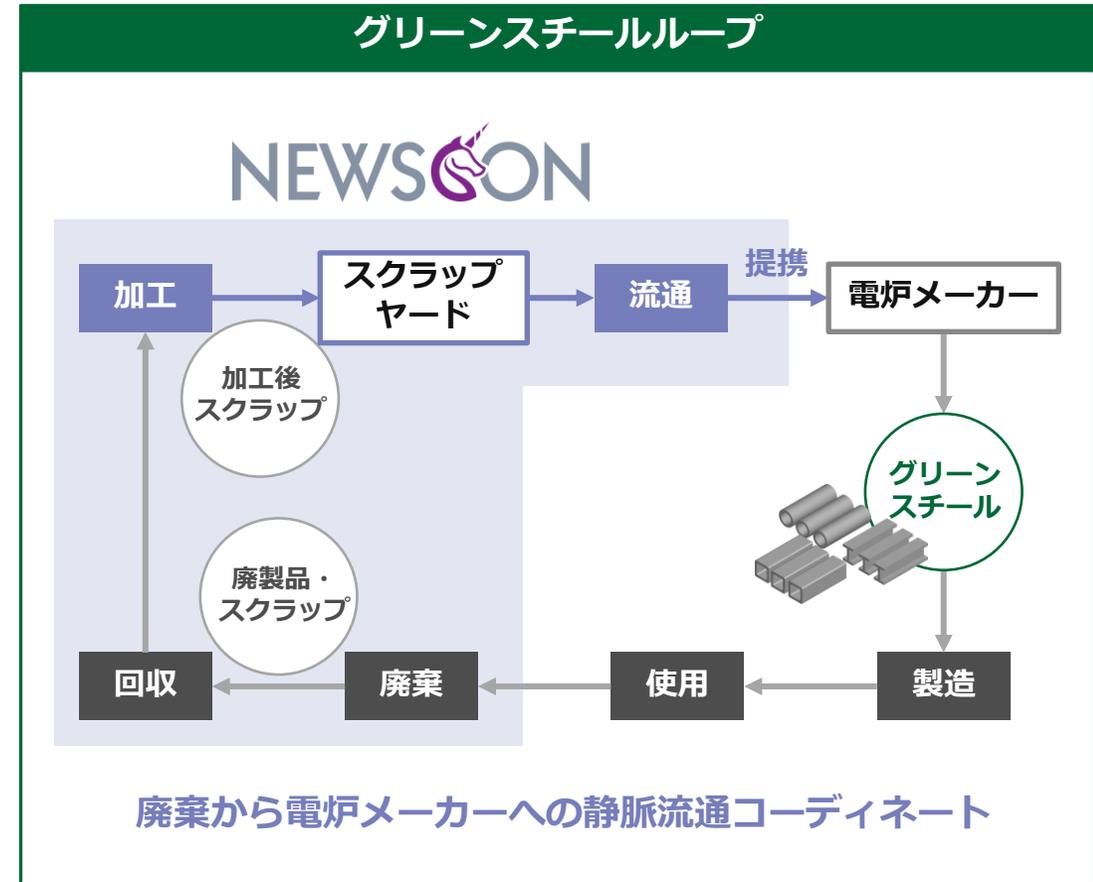
## グリーンスチールに向けた具体的な施策

国内鉄鋼メーカーとの関係性深化によるCEへの貢献

- 国内電炉メーカーと提携し、安定した集荷・販売の仕組み強化（尼崎2024年6月開始、船橋2025年6月予定）
- 国内鉄鋼メーカーとの協力関係を活かしたクローズド・ループの形成推進
- 世界を視野に入れたサプライチェーン構築

## 国際的な流通で資源循環を促進

- 国際資源循環スキームの構築（非鉄金属及びレアメタル）
- 低炭素燃料（サーマルリサイクル）の国内/海外からの調達促進
- プラスチック再生素材の海外からの調達と供給



**サーキュラーエコノミー（CE）スキーム構築から管理業務請負まで一貫したサービス**



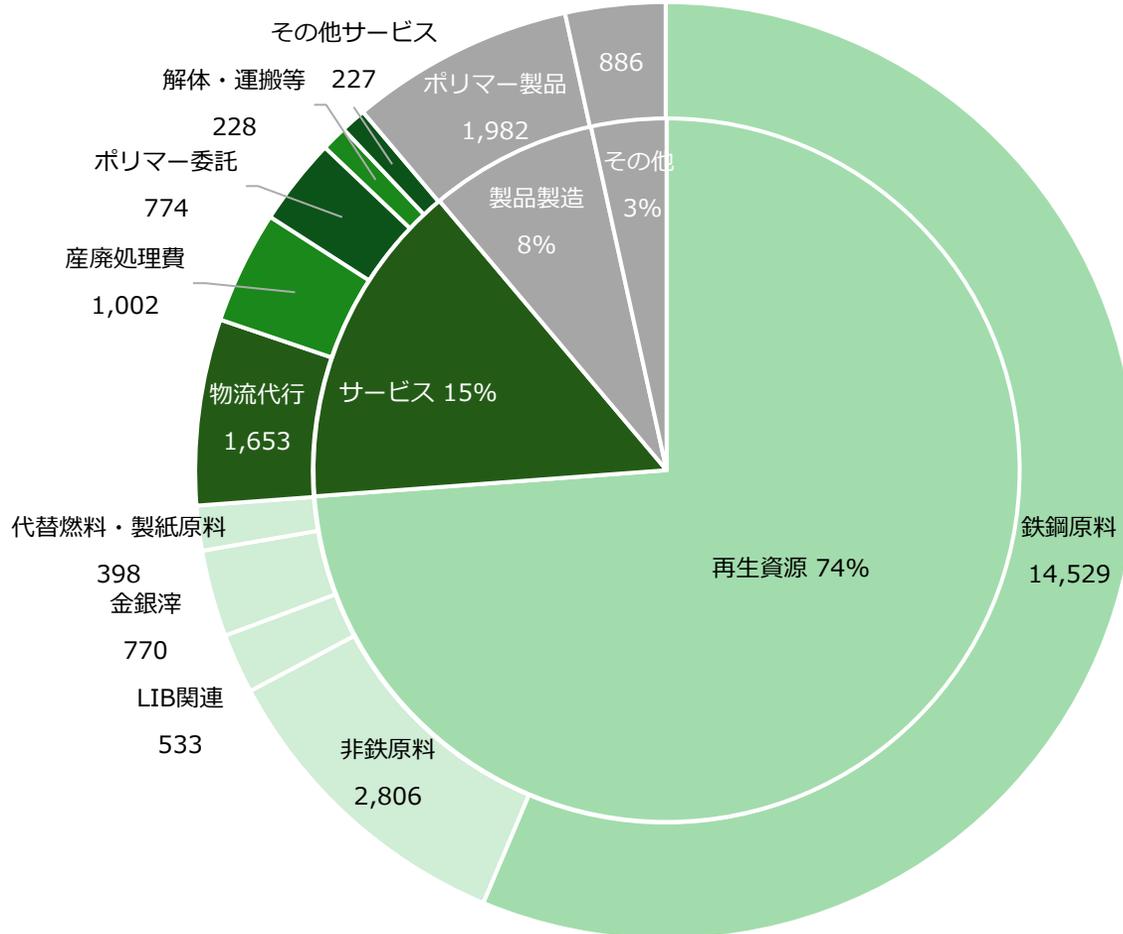
## 目次

1. 2025年6月期 決算概要
2. 2025年6月期 見通し
3. 今後の主な取り組み
4. **参考資料**

2024/6 上期

売上高 25,789百万円

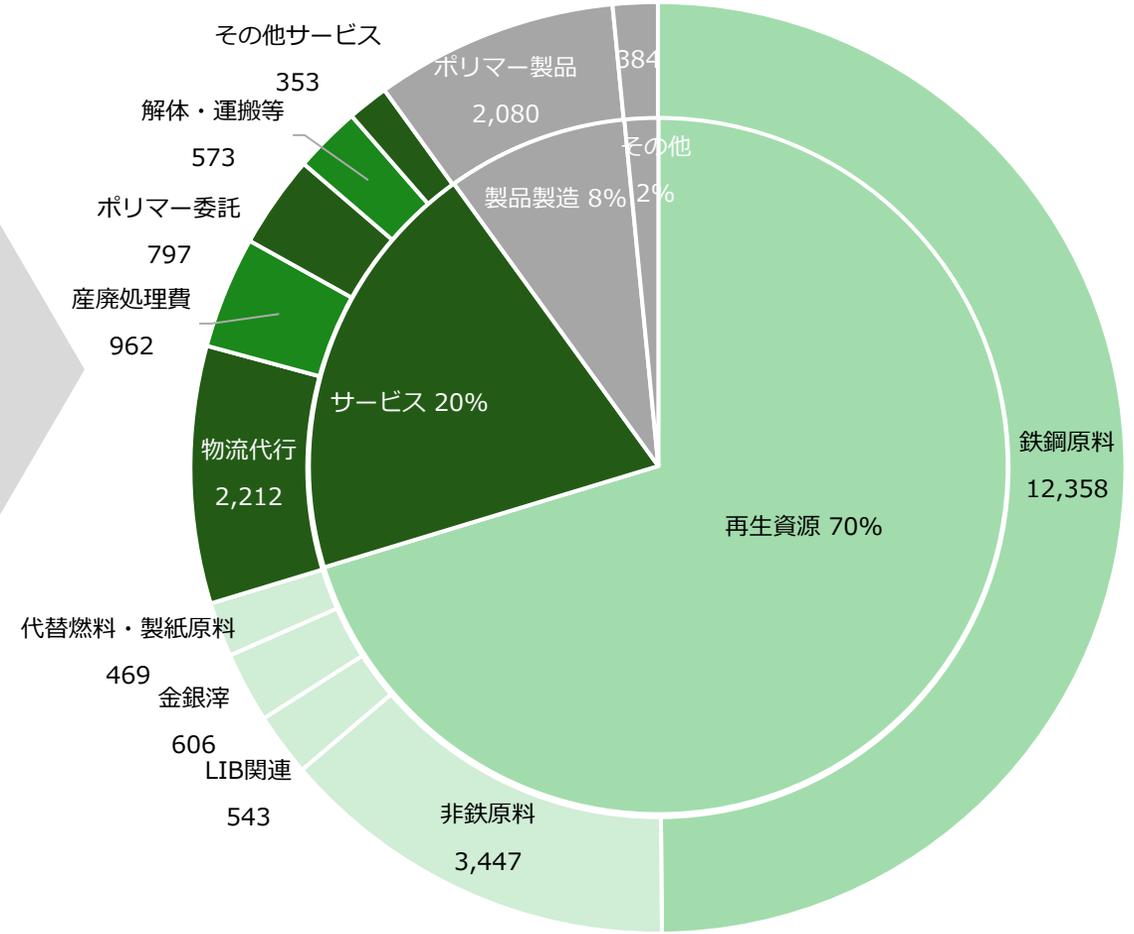
(単位：百万円)



2025/6 上期

売上高 24,783百万円

(単位：百万円)



**品種別取扱量**

(単位：千 t)

品目	2024年6月期 上期	2025年6月期 上期	前年同期比
鉄	263	<b>227</b>	▲13.6%
非鉄金属	8	<b>16</b>	93.9%
金銀滓*	2.0	<b>1.0</b>	▲52.5%
ポリマー製品	14	<b>14</b>	2.7%
RPF等燃料、製紙原料等	25	<b>26</b>	5.1%
ブラックマス等*	0.5	<b>0.5</b>	5.5%
その他	9	<b>8</b>	▲7.4%
合計	324	<b>293</b>	▲9.5%

(単位：k g)

品目	2024年6月期 上期	2025年6月期 上期	前年同期比
金回収量	39	<b>23</b>	▲41.0%
銀回収量	557	<b>387</b>	▲30.5%

**地域別売上高**

(単位：百万円)

地域	2024年6月期 上期	2025年6月期 上期	前年同期比	
東アジア	日本	15,531	<b>13,876</b>	▲10.7%
	韓国	3,752	<b>3,952</b>	5.3%
	台湾	812	<b>978</b>	20.5%
	その他	502	<b>941</b>	87.4%
東南アジア	インドネシア	1,138	<b>1,044</b>	▲8.3%
	ベトナム	2,774	<b>2,879</b>	3.8%
	その他	483	<b>264</b>	▲45.4%
南アジア	インド他	68	<b>424</b>	522.9%
西アジア	UAE他	110	<b>62</b>	▲43.3%
南米	チリ他	489	<b>247</b>	▲49.5%
アフリカ	ケニア他	10	<b>0</b>	▲100.0%
その他	-	113	<b>116</b>	3.1%
合計	25,789	<b>24,783</b>	▲3.9%	

\*金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

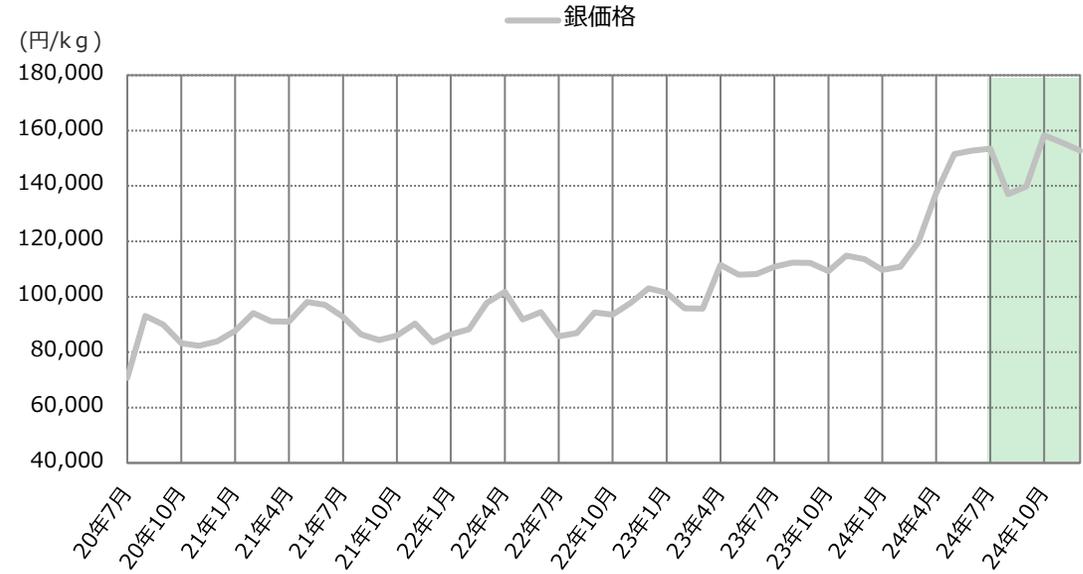
\*ブラックマス：リチウムイオン電池を放電・乾燥・破碎・選別したリチウム、コバルト、ニッケルの濃縮滓

# 参考資料▶セグメント別四半期業績推移

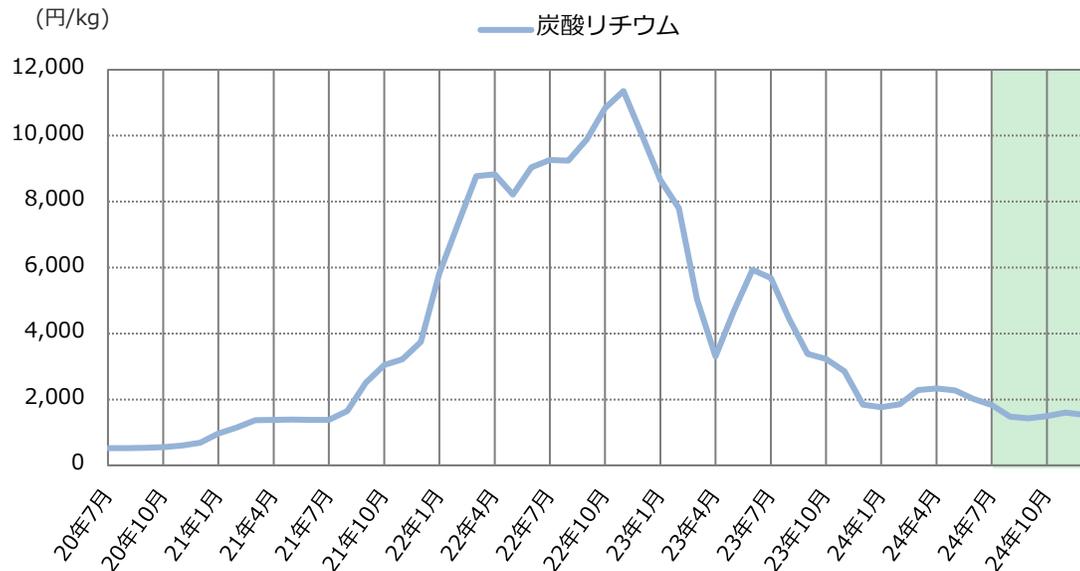
(単位：百万円)

セグメント	2024年6月期						2025年6月期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	構成比	1Q	2Q	上期	構成比	
資源循環事業	取扱量(千 t)	57	64	61	67	249	-	53	63	<b>116</b>	-
	売上高	4,916	5,367	5,370	5,600	21,254	36.0%	4,792	5,433	<b>10,225</b>	37.4%
	経常利益	391	397	354	476	1,621	69.0%	85	405	<b>490</b>	77.5%
	経常利益率	8.0%	7.4%	6.6%	8.5%	7.6%	-	1.8%	7.5%	<b>4.8%</b>	-
グローバル トレーディング事業	取扱量(千 t)	121	125	111	132	490	-	101	116	<b>217</b>	-
	売上高	8,709	8,735	8,443	9,066	34,955	60.0%	8,051	8,035	<b>16,086</b>	58.8%
	経常利益	124	167	30	87	411	17.0%	6	10	<b>16</b>	2.5%
	経常利益率	1.4%	1.9%	0.4%	1.0%	1.2%	-	0.1%	0.1%	<b>0.1%</b>	-
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	356	361	477	374	1,570	3.0%	465	347	<b>812</b>	3.0%
	経常利益	81	50	38	47	218	9.0%	50	44	<b>94</b>	14.9%
	経常利益率	22.8%	14.0%	8.1%	12.6%	13.9%	-	10.8%	12.7%	<b>11.6%</b>	-
その他	売上高	157	85	145	103	491	1.0%	134	102	<b>236</b>	0.9%
	経常利益	66	▲11	52	0	108	5.0%	27	5	<b>32</b>	5.1%
	経常利益率	42.4%	▲13.9%	36.2%	0.8%	22.0%	-	20.1%	4.9%	<b>13.6%</b>	-
調整額	売上高	▲1,326	▲1,573	▲1,461	▲1,693	▲6,056	-	▲1,183	▲1,394	▲2,577	-
	経常利益	▲140	▲123	▲147	▲164	▲576	-	▲127	▲148	▲275	-
連結	取扱量(千 t)	159	164	153	170	648	-	137	156	<b>293</b>	-
	売上高	12,812	12,976	12,974	13,449	52,214	-	12,259	12,524	<b>24,783</b>	-
	経常利益	523	481	329	447	1,782	-	41	318	<b>359</b>	-
	経常利益率	4.1%	3.7%	2.5%	3.3%	3.4%	-	0.3%	2.5%	<b>1.4%</b>	-

\*セグメント利益は経常利益で記載をしております。



(出所) 東京製鐵(株)、J X 金属(株)、IRuniverse(株)



(出所) IRuniverse(株)、(株)三菱UFJ銀行

## 本資料に関する注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。